

[5]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2557104>

出版情報 : 文學研究. 5, 1933-07-10. 九州文學會
バージョン :
権利関係 :

彙報

國文學會

一、例會

五月六日(土)午後六時 鳳洲屋樓上に於いて、

新人生歡迎の意味を以て談話會を催す。(新人生十氏。)

一、「會報」第五號

六月下旬發行。

英文學會

一、第四回沙翁記念祭兼新人生歡迎會

昭和八年五月二十五日、午後六時、於第二學生集會所。

當日の出席者、豊田教授、中山助教、内田副手、學生五十餘名。

記念講演、左の如し。

一、「我國に於ける沙翁記念祭の沿革及意義」 内田副手

一、「感想」 中山助教

一、「日本に於ける沙翁紹介の概略」 豊田教授

獨逸文學會

一、五月十一日(木)新人生歡迎會兼獨逸文學會懇親會を福新樓

に於て催す。午後六時開會。出席者小牧教授外八名、新人生木下俊夫、黃集榮の兩名。

研究發表會

一、五月十八日(木)、午後六時、第一演習室

ハインリッヒ・マンの「女アイグワチヤイシト神」

永安登一

九州帝國大學法文學部文學關係學科講義題目

(昭和八年第一學期)

國文學

一週時間

單位數

擔任教官

奈良朝文學史概論

〇・五

春日教授

演習「源氏物語」

〇・五

全

演習「伊勢物語」

〇・五

全

中世文學思潮

〇・五

小島助教授

演習「近松淨瑠璃」

〇・五

全

演習「新古今集」

〇・五

全

支那文學

文選研究

四

山内講師

漢字佛典研究

二

全

英文學

小說演習 (Wells)

二

豊田教授

新刊紹介

土居光知氏著 基礎日本語

「基礎日本語」の意圖する所は、日本人の國語生活に於いて標準的となつてゐる普通語の内部に基礎的な領域を指定しようとするにある。それは換言すれば「出来る限り單純な、しかし何事でもはつきりと言ひ表し得る、整理された、また記憶することがたやすい」最低限度の従つて何人も有つべき國語の層を定めようとするところである。

これは著者によれば、國內に於いて文化の普遍化を可能ならしめ、朝鮮・臺灣・滿洲に於ける國語の教授或は歐米の人々の國語學修を容易ならしめ、又漢字の重荷から逃れてローマ字への可能性を深め、且つやさしい文字に豊かな内容を盛る訓練を與へることをその目的とするものである。それ故に基礎語はそれを包攝して更に高い普通語或は特殊語の領域に進みゆくことを何ら拒否するものではない。

著者はこのやうな基礎語として千語を選び、それを表に作成した。その選擇の根本原理は次の點にあると言へる。

- 一、文字に對してその讀み方を一種に定めること。
- 二、音韻に對してその意義を一種に定めること。
- 三、意義に對してその語彙を一種に定めること。
- 四、要素に分解し基礎語で合成し得る語は省くこと。

チヨウウサ	二	〇・五	中山助教授
文學の背景としての英譯聖書	二	〇・五	豊田 教授
講義及演習 John Keats	二	〇・五	全
演習 Restoration Tragedies	二	〇・五	中山助教授
演習 Galsworthy	二	〇・五	同
講義 英文學	二	〇・五	マーター 講師
佛 文 學			
王朝末期に於ける文藝思潮	二	〇・五	成瀬 教授
演習「クレビヨンの悲劇」	二	〇・五	全
佛文學史概説(十九世紀)	二	〇・五	須川助教授
獨 文 學			
獨逸文學史「ゲーテ以後」	二	〇・五	小牧 教授
演習 Goethe, Iphigenie	二	〇・五	全
演習 論文講讀	二	〇・五	全
獨逸文學史概説	二	〇・五	佐藤助教授
獨語學概説	二	〇・五	全
現代獨逸文學概説	二	〇・五	エッカルト 講師
言 語 學			
言語學概論	二	〇・五	吉町 講師

例へは、「佛様の教へを廣めるための家」——寺——な
る。

五、言文を一致せしめ、「叮嚀」の文體とする事。

六、文章はそのまゝ他國の言葉にし得るものとする事。

本書は第一部基礎日本語の文章の法則及び第二部基礎日本語讀本から成つてゐる。法則に於いて在來の觀念と異なる所は、動詞を規則動詞(し・する・すれ)と不規則動詞(他の語活用)とに分け、助動詞と助詞とを一括して助けの語としてゐる點である。假名遣はずべて歴史的のそれによつてゐる。第二部には小學讀本の基礎語による書換へがある。そこでは個有名詞がゴチックで表されてゐる。

明治初年以來の國語問題は今日に於いて標準語の制定・文體の統一・漢字の制限などに一應の成果を見せながら、なほ幾多の問題を残してゐる。そして他方に於いては國語の特殊性に對する認識が深まり、文法の日本的な組織さへが考へられるやうになつて來た。この時に際してこの基礎日本語の主張が提唱されたことは更に考ふべき種々の問題を提出したものと云はねはならぬ。(東京市神田區佐久間河岸三十七番地 六星館發行 定價壹圓八拾錢)

寄贈雜誌

日本文學。國語・國文。國文學誌。國學院雜誌。同志社文學。外來語研究。英語青年。コトバ。皇學。文藝思潮。藝術。國文學新報。土佐史談(高知)。農業文化。(順序不同)